



南部町立南部中学校 学校だより 第22号

千一ム南部中

令和4年3月9日(水)
校長 望月和彦

卒業に向け3年生たちは

3月3日(木)4日(金)には山梨県公立高校後期入試と静岡県公立高校入試、静岡県の通信制の入試などがあり、21人の生徒が受験しました。すでに1月から2月にかけて私立高校や山梨県公立校の前期入試が終わり、半分以上の生徒が合格や内定をもらっている中で、最後まで入試に向けた緊張感を持って受験勉強をがんばってきた生徒たちです。前日2日の放課後、受験する21名が最後の諸注意を受けていたので、私からは「今日まで不安な気持ちに負けず本当によく頑張ってきました。今までの努力の様子を見ていると、普通の力を発揮すれば全員が合格できると信じています。人生の中で何回も経験できることではないので、緊張するとは思いますが楽しんで受験してきてください。」と激励しました。新型コロナウイルス感染症など、受験生の健康状態を最も心配していましたが、入試当日は全員が体調万全で受験することができたことに何よりもほっとしました。山梨県内では10人ほどの受験生が感染症等のために受験できず、特別日程の追検査が行われることになりました。そのため11日に予定されていた合格発表が、15日に延期されることになりました。ドキドキする時間が長くなってしまいましたが、静岡県公立高校の合格発表と同日になったので、みんなで喜び合える日を待ちましょう。



公立高校の入試が終わると、3年生は中学校生活最後の時間を卒業に向けた取り組みに使っています。卒業式の練習を中心に、コロナのために制限していた合唱練習も始めました。このコロナ禍の中で合唱を認めるかについてはとても悩みましたが、この3年生にとって成長の大きな証の一つが合唱であり、なくてはならない思い出の一つであることから、入試終了後から可能な感染症対策を施す中で合唱練習を始めることを認めました。保護者の皆様には卒業式当日の生徒たちの合唱を楽しみにして欲しいと思います。



3日と4日には受験のない3年生だけで、7日には3年生全員で「愛校作業」を行ってくれました。3年間お世話になった校舎に感謝の気持ちを込めて、校舎内の全トイレ、バス駐車場のトイレ、体育館や外の倉庫、柔剣道場、玄関、作法室など、普段の清掃ではできない部分を一生懸命きれいにしてくれました。また、8日の5校時には保体の授業でグループごとに創作したダンスの発表会を行い、6校時は最後の学年レクで借り物競走やスポーツ鬼ごっこをして、どちらもとても盛り上がったようです。こうした時間を3年間ともにした仲間



と一緒に過ごすことで、卒業に向けた様々な気持ちが高まっているようです。明日の卒業式はきっと素敵な時間になると思います。保護者の皆様には、お子様の成長した晴れ姿を目に焼き付けて欲しいと思います。

感謝の気持ちを伝える会

3月7日の6校時終了後、3年生が私たち教職員のために「感謝の気持ちを伝える会」を開いてくれました。会の中で、3年生全員が一人一人の教職員に記した文章を綴ったメッセージカードをいただきました。3年生と私たちとの思い出や感謝の気持ちが書かれており、30人近くの教職員一人一人にメッセージを書いた時間を想像するととてもありがたい気持ちになりました。会の最後には音楽発表会で歌った学年合唱曲の「春」を聞かせてくれました。入試を終えてから全員で練習できる時間はほとんどなかったはずでしたが、ハーモニーや音程がどうのこうのよりも、3年生一人一人の私たち教職員に対する気持ちが伝わってくる歌声と表情、姿勢でした。とっても素敵な時間を味わわせていただきました。3年生の皆さん、ありがとうございます。



「情報モラル教育」ネットやSNS等の危険性の学習

本校は今年度、国や県の方針を受けてICTを教育活動へ取り入れることに力を入れています。多くの教科の学習や学校行事の取り組みにChromeBookが使われ、生徒たちがインターネットに接続する回数は、昨年度に比べ飛躍的に増加しています。家庭でも、スマートフォンやパソコンなどを使って多くの生徒がネットの世界につながるようになりました。学習や生活にとっても便利なツールである反面、使い方を間違えると大きな危険がある道具でもあります。ネット依存といわれるような健康面での被害、不用意な書き込みによる個人情報の流出や人間関係のトラブル、詐欺や誤った情報による被害、悪意を持った人との関係が生まれたり、犯罪に巻き込まれたりする可能性もあります。生徒たちにICTを利用させるには、そうした危険性についてしっかりと理解させることがとても重要になっています。本校では、佐野希生徒指導主事や保坂伸也情報主任が中心となって、情報モラル教育にも取り組んでいます。3学期は道徳の時間を使って、文部科学省のホームページにある資料や映像を使いながら、生徒たちにネットやSNS等の危険性についての学習を進めています。「情報化社会の新たな問題を考えるための教材」で検索していただくと、ご家庭でも資料や映像がご覧になれますので、是非参考にしてください。

学校運営協議会

本校は「地域とともにある学校」(コミュニティ・スクール)として、地域住民、保護者、学識経験者等の12名の委員からなる学校運営協議会を年4回開催しています。2月25日には第4回の会議を行い、今年度の教育活動について意見をいただき、生徒・保護者・教職員のアンケートを基にして作成した学校評価(自己評価)についても意見や感想をいただきました。教育活動を改善するための貴重な意見や学校への励ましの言葉をたくさんいただきました。来年度の教育活動にいかしていきます。



南部町愛育会より

2月24日、樋口清江会長さんをはじめ4名の南部町愛育会の方々が来校し、乳児の人形と胎児の模型セットを寄贈していただきました。乳児の人形は本物のあかちゃんと同じ重さで、質感も同じように精巧につくられています。胎児の模型はお腹の中の胎児の形や成長が実感できるようになっています。保健や家庭科の命の授業の教材としても利用できます。現在は保健室内に生徒が触られるように展示されています。愛育会の皆様、ありがとうございます。大切に活用させていただきます。

